

4月の編集会議当日は花冷えで列島中が震えていましたが、5月に入るとすっかり気温が上昇し、文字通り立夏の様相となっています。夏の予感とともに、私が編集委員を拝命してはじめて編集会議に出席して以来ちょうど1年が経過しようとしています。私の専門である肝胆膵外科以外の領域の多くの論文を見せていただく機会に恵まれ、異なる分野の様々な手技・考え方にすこぶる感心し続けた1年間でした。

本誌は1991年の創刊以来、会員の皆さまの熱心な投稿と代々の編集主幹の情熱により、今回の22巻4号まで途切れることなく発刊され続けています。本号も消化器外科、婦人科、胸部外科と幅広い分野の論文を掲載しています。また、「日本内視鏡外科学会技術認定制度」実施のお知らせも掲載されていますのでお見落としなく。

ところで、本邦には多くの医学関連学会がありますが、そのほとんどは診療科を対象臓器に基づいています。JSESは、数少ない診療科も臓器も全てを横断した学会であり、しかも、そのような横断の学会にもかかわらず非常に活発で総会参加数も多いという稀有な団体であると感じています。その理由として、内視鏡手術という医療技術がもたらしたインパクトがいわゆる“改善”ではなく“パラダイムシフト”と言われる範疇に分類されるからなのではないでしょうか。パラダイムシフトは、著名な科学史家であるKuhnが科学革命の説明に用いた用語であり、その後拡大解釈されていると度々批判される言葉です。それまで支配的であったパラダイム（考え方）で解決不能な問題が新たなパラダイムで解決できることにより、新たなパラダイムが支配的になることを表現しています。かつての外科医の世界にあっては「Big surgeon, Big incision」が常識であり、良好な視野を得て安全な手術をするためには、常により大きな傷をつけることが正しいとされていました。内視鏡外科の時代になり、小さな傷からの観察で、Big incisionの時代には得られなかったような微細かつ正確な解剖が認識されるようになりました。その結果、多くの分野でスコープを用いた小さな傷の手術が標準となり手術の質自体も向上しました。これはパラダイムシフトと言えるレベルの変化ではないでしょうか。

この比較的新しい医学革命の技術は今も進化を続けており、その熱気が諸先生方に本学会および本誌に興味を持っていただく理由になっているのではと感じています。この重要な雑誌を益々発展させるべく精進してまいりますので、皆さまの活発な投稿を心よりお待ちしております。

(中村雅史)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第22巻 第4号) 2017年7月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 定価：本体2,800円＋税 ＊会員には毎号送付されます。

2017年 年間購読料：冊子版16,380円＋税、電子版(個人)16,380円＋税、冊子＋電子版(個人)19,380円＋税(配送料：医学書院負担) ＊会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会(代表：渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses@convention.co.jp(担当：池田，小倉)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2017, Printed in Japan

発 売：(株)医学書院(代表：金原 優)(本誌担当：水野，安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・JCOPY (株)出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●原著

腹腔鏡補助下大腸切除術における臍部小開腹創の切開創 SSI

発生状況吉松和彦・他 東京女子医科大学東医療センター外科
 当院における小腸閉塞に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の比較検討山東雅紀・他 静岡済生会総合病院外科
 胆嚢総胆管結石に対する腹腔鏡下胆嚢摘出・胆管切石術の治療成績加茂仁美・他 岡山会田岡病院外科
 術後アンケート調査における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TEP)

の長期成績と合併症症例の検討北園 巖・他 第一東和会病院内視鏡外科センター

●症例報告

右胃大網動脈を用いた冠動脈バイパス術後の胃癌に対して腹腔鏡下幽門側胃切除を

行った 2 例櫛谷洋樹・他 帯広厚生病院外科
 単孔式腹腔鏡下手術を施行した Winslow 孔ヘルニアの 1 例柏木裕貴・他 香川県済生会病院外科
 経腔的標本摘出法による完全腹腔鏡下手術を施行した胃・大腸癌

の重複癌症例八木直樹・他 前橋赤十字病院消化器センター外科
 肝性胸水に対する胸腔鏡手術の検討加藤 健・他 本荘第一病院消化器センター
 開腹幽門側胃切除 Roux-en Y 再建後の内ヘルニアを腹腔鏡下に整復した 1 例梶原大輝・他 石巻赤十字病院外科
 TAPP 術後早期に発症した腹膜縫合部離開による小腸嵌頓に対して

腹腔鏡下手術を施行した 1 例三上和久・他 石川勤労者医療協会城北病院外科

●手術手技

当院における単孔式腹腔鏡下腎盂形成術矢西正明・他 関西医科大学附属病院腎泌尿器外科
 腹腔鏡下脾臓十二指腸切除術における上腸間膜動静脈周囲への Artery first

approach大目祐介・他 倉敷中央病院外科
 腹腔鏡下の直腸 DST 吻合における Air Enema 法による circular

stapler 挿入の簡便化岡本拓也・他 北野病院消化器センター外科

●私の工夫

TAPP におけるパリテックスラッププログリップ™ メッシュの展開法武藤 潤・他 帯広厚生病院外科
 他に症例報告が数編あります。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。